

機械式駐車装置稼働実態情報記入シート（2020年度版）

区分	基本管理情報						着色部pulldown採用					駐車場管理情報						着色部pulldown採用	
	立駐工管理番号	駐車場名称	設置場所			駐車場用途	駐車場運用形態	管理主体	大臣認定	設置年月	駐車台数(台)	設置基数(基)	駐車装置方式名	管理人の有無	点検周期(回/年)	保守点検契約年	保守点検契約方式	保守点検契約解除理由	遠隔点検の採用
新：新規追加物件 改：内容変更 消：物件消滅			都道府県	市	区・郡														
	000001	〇〇駐車場	東京都		中央区	マンション駐車場	月極駐車場	管理組合(理事会)	その他	1999/3	36	18	類型2	無人	4回/年	2000/5	その他	解体撤去	無
改	000002	山田駐車場	東京都	三鷹市		営業用駐車場	時間貸月極併用駐車場	個人(個人事業者)	旧大臣認定装置	1995/3	30	1	類型6	併用	6回/年	1995/3	POG方式		無
改	000003	◇〇駐車場	山梨県	甲府市		マンション駐車場	月極駐車場	管理組合(理事会)	旧大臣認定装置	2000/5	50	25	類型2	無人	4回/年	2000/5	POG方式	業者変更	無
	000004	△△駐車場	千葉県	千葉市	稲毛区	事務所駐車場	サービス用駐車場	管理会社(管理請負会社)	新大臣認定装置	2016/6	150	50	類型2	有人	4回/年	2016/6	POG方式		無
	000005	××市営駐車場	神奈川県	横浜市	緑区	公営駐車場	時間貸駐車場	官公庁・公共団体・三セク	新大臣認定装置	2018/4	200	5	類型4	有人	12回/年	2018/4	FM方式		採用
新	000006	□□会社駐車場	大阪府	大阪市	浪速区	事務所駐車場	サービス用駐車場	法人(会社契約)	新大臣認定装置	2019/3	35	1	類型5	有人	12回/年	2019/3	POG方式		採用

新：新規追加物件 改：内容変更 消：物件消滅	(公社) 立体駐車場工業会の管理番号	提供者より原本修正が面倒との申し入れを受けた場合には、立駐工の管理番号を付与して管理をします。	守秘義務対象(継続管理に向けたデータの重複を回避するため最低管理番号による管理は必要)	提供者より原本修正が面倒との申し入れを受けた場合には、立駐工にて町村番地を削除して取扱います。	大阪府大阪市浪速区等の場合は、プルダウンで大阪府を選択し、市の欄に大阪市と記載、郡・区の欄に浪速区と記載願います。	守秘義務対象(市区郡迄のデータで管理。町村番地は不要です)	保守点検事業者にて把握している範囲(管理している範囲)で記載願います。	現在契約されている契約先を記載願います。	①平成二十八年六月以前に設置旧大臣認定 ②平成二十八年七月以降に設置新大臣認定 ③設置年が不明又は大臣認定を取得していない装置(その他)	西暦にて設置年月まで記載願います。	台数(パレット数)で記載願います。 類型1(地上二段式)は下面の台数を含み2台/基	二段・多段方式は基数の掲載に拘りません。	認め注意が必要で、説明用の対比表を参照願います	有人・無人・併用(日中/有人・夜間/無人等)を選択	現場に赴く最短周期	稼働途中から保守点検契約を締結した場合には、契約締結日を保守点検契約年とします。 駐車装置設置から継続年数が判明している場合には設置年を優先します。	現在契約している契約方式を記載	分かる範囲の記載で可能	採用(定期的に通常点検で実施している場合)
------------------------------	--------------------	---	---	---	---	-------------------------------	-------------------------------------	----------------------	--	-------------------	--	----------------------	-------------------------	---------------------------	-----------	---	-----------------	-------------	-----------------------

機械式駐車装置稼働実態情報記入シート（2020年度版）

安全装置情報				着色部pulldown採用					その他 着色部pulldown採用			
人存在検知装置	乗降領域区画検知	出入口扉	外囲い	起動許可装置	非常停止機器	操作認証機能	無人確認手段	インターロック	利用者向け取扱説明・指導教育（提出前の一年を対象）	駐車場関係者での協議の場の設置（提出前の一年を対象）	有閑パレットの再利用計画	駐車装置入替工事
無	無	カラーチェーン	フェンス	無	有	無	無	無	未実施	未実施	設置済	入替済
有	無	シャッター	外装	有	有	無	無	新規	未実施	未実施	無	無
無	無	新規	植栽	無	有	無	無	無	実施	実施	無	計画中
無	無	ゲート	フェンス	無	有	無	反射鏡	無	計画中	未実施	計画中	無
有	無	パネルドア	外装	有	有	有	モニター	有	実施	未実施	無	無
有	無	パネルドア	その他	有	有	有	モニター	有	実施	計画中	無	無

更新された情報

契約方式	<ul style="list-style-type: none"> ・ P O G方式 : Parts・Oil・Greaseの頭文字の略称 ・ F M方式 : Full Maintenanceの略称 ・ その他 : 上記以外に属するもの。
類型説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 類型 1 : 地上二段式 ・ 類型 2 : ピット二段（三段）昇降式 ・ 類型 3 : 昇降縦行（昇降横行）式 ・ 類型 4 : エレベータ方式 ・ 類型 5 : 平面往復方式・水平循環方式・多層循環方式 ・ 類型 6 : 垂直循環方式 ・ 類型 7 : 類型 4、5 の方式などのバース式
無人確認手段	乗降領域における無人確認の方法
	<ul style="list-style-type: none"> ・ モニタ・の有無 : カメラとモニタ画面により無人の確認（基本大型装置） ・ 反射鏡 : 入庫車後部の死角部分を確認（基本二段多段式駐車装置） ・ 無人押釦 : 利用者が庫内から出たことを確認して押す ・ 無 : 特に無人確認機能の設置がない ・ 上記以外 : 上記以外の確認方法を採用

分かる範囲で該当箇所に記載。									
装置の 利用者が 乗降領域 の乗降領域 の人検知センサ （主に大型駐車 装置）	利用者 が乗降領域 を区画する 光電式センサ等 （主に二段多段式 駐車装置）	パネルドア （類型 4・5・6・7 用横開き及び上下 開き） シャッター （類型 6） ゲート （類型 2・3） カラーチェーン （類型 2）等	車路（又は前庭） と乗降領域（利用者 が乗り降りする 駐車装置）	防犯カメラ等の 設置目的で植え られた植栽（花壇） ・ 無（装置の 周囲に囲い）	反射鏡（二段・ 多段式駐車方式 の半入り口側 死角部分を 目視で確認） ・ 無人確認 押釦（利用者 が全員の退 出を確認して 押す釦）等	通称「非常停止 釦」と呼ば れている釦	通称「暗証方式」 「カード方式」 「キー方式」 等と呼ば れている釦	通称「安全確認 釦」と呼ば れている釦	定期的な利用者 への取扱及び 安全教育指導 の実施（OJT）
全ゲート（出入口扉）とのインターロックの ことを示し、全面ゲート（出入口扉）閉 以外の駐車装置は作動しない状態をいう									利用者・管理者・保守点検事業者（・設置者・製造者）による話し合い
守秘義務対象（空パレットにロッカーを取付け倉庫や自転車置き場等への転用）									守秘義務対象（経年劣化が進む駐車装置の入替工事）